

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2014年7月②発行

平和が大事！戦争には行かせない！

7月12日、網の目平和行進に参加しました。たいへん暑かったです！上賀茂神社前からスタートして、御菌橋を渡り、新大宮商店街を南に歩き、北大路から船岡公園まで、歩きました。ラップ調のアピールやシュプレヒコール、歌などを歌いながら、歩きました。毎年、参加していますが、今年はこれまでとは、緊迫感が違います。集団的自衛権の行使を絶対に実行させない闘いは、もっともっと広げて行かなくてはならないと思います！



左端から玉本市議、浜田府議、右端が井坂市議

今、日本共産党には、自衛隊員の家族から、戦争参加を止めてほしいと声が多く寄せられています。

暑中お見舞い
申し上げます。



熱中症にはご注意ください。
玉本なるみ

つぶやき：「えーっ生ごみって分けないの！」

「つぶやき」のコーナーですが、驚きの一言です。

新潟県長岡市では、生ごみからバイオガス発電を行って、勉強に行って来ました。発電をすることが第一の目的ではなく、ごみを減量することにあるとのことで、生ゴミと燃えるゴミを家庭から分別して出されていました。分別された生ごみを、微生物分解し、ガスを発酵させ、発電するしくみです。私は京都市が現在計画しているバイオガス発電も同じようなやり方かと思っていましたが、まったく違っていました。京都市がやろうとしているバイオガス発電も確かに、生ごみを活用するものですが、分別を市民にしてください実施するのではなく、今まで通りの一般ごみとして回収したごみから、生ごみを施設で振り分けて、行うものだそうです。乾式という方法で、長岡市の場合は湿式方式というそうです。

京都市は、市民に生ごみ分別をお願いしないので、市民にしてみたら、バイオガス発電に協力しているという実感はなく、ごみの分別・減量にはつながらないように思います。



商店リフォーム助成

群馬県高崎市の「商店のリフォーム助成」を勉強してきました。上限100万円工事費の2分の1助成という補助制度で、「もう閉店しようか」と思っていたが、この制度の活用でお店がきれいになりお客さんも増えて、やって良かったと喜びの声が寄せられているとのこと。こういった支援策が京都市にも必要だと思います。



座敷用の立派な机の足を継ぎ足し、テーブルに変身。椅子も特注し、お客さんにも好評とのことでした。

給食の食器

アンテナ



京都市の小学校給食における「和食」の検討会議が専門研究者の皆さん達によって議論されています。

実際に給食を食べ、アルマイト食器と和食文化は相いれないというご意見も出されており、その通りだと思えます。全国でも、給食をアルマイト食器にしようとしている学校は1割程度です。し、統合校などでは、保護者の希望などから、写真左のような花柄もある温かみのある陶磁器などの食器が導入されています。熱いものが入ると食器を持って食べられず、口を持って行って食べることになりません。



ユネスコで無形文化遺産になったのは、お作法も含まれている「和食文化」が認められたもの。多くの委員の方が、アルマイト食器を利用されていることに驚いておられます。私も何度も、委員会でも変更を求めてきました。食器って大切です！



【新】ミートボールとキャベツのトマト煮

統合校の学校の給食